

**講座  
30**

**財政学から見た日本の現状と将来**

オンライン併用

【会場定員】 144名 【オンライン定員】100名 【受講料】 2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円

『政治・経済・社会』経済 【時間】 毎回13時00分～14時30分（計12回）

**概要**

日本財政の現状は厳しい。財政赤字は累増しているし、国債残高の対GDP比も上昇を続けている。一方で、高齢化で社会保障需要は増加傾向だし、少子化対策での財政支援も求められる。また、地政学的なリスクを反映して防衛費も増加し、自然災害対応での公共事業整備も手を抜けない。他方で、消費税の増税は政治的に先送りされ、所得税などの税制改革も進展していない。こうした日本財政が直面する諸課題について、財政学の立場から解き明かすことで、日本の現状分析と将来展望を考えていきたい。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/13(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	財政学から見た日本の現状と将来:はじめに	政策研究大学院大学名誉教授 井堀 利宏
2	10/20(金)		社会保障改革	関東学院大学教授 島澤 諭
3	10/27(金)		公共事業の現状と将来像	慶應義塾大学教授 土居 丈朗
4	11/10(金)		異次元子育て政策と人的資本形成	関東学院大学教授 島澤 諭
5	11/17(金)		防衛費と国際安全保障	慶應義塾大学教授 土居 丈朗
6	11/24(金)		消費税のあり方	慶應義塾大学教授 寺井 公子
7	12/ 1(金)		所得税改革	
8	12/15(金)		企業課税と国際課税のあり方	東京大学教授 小川 光
9	1/12(金)		資産課税と世代間移転	
10	1/19(金)		政府間財政と地方分権	中央大学教授 持田 信樹
11	1/26(金)		財政健全化と財政運営	
12	2/ 2(金)		財政学から見た日本の現状と将来:おわりに	政策研究大学院大学名誉教授 井堀 利宏